

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を越えた新たな連携

直接の取引先を通じてその先の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を越えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

電子商取引を相互に利用し推進することで、取引先の業務効率向上を支援します。

2. 「振興基準」の遵守

親事業者と下請事業者との望ましい取引慣行（下請中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

①価格決定方法

不合理な原価低減要請を行いません。取引対価の決定に当たり、取引先から申入れがあった場合には、労務費上昇分の影響を考慮するなど適正な利益を含むよう、十分に協議します。また、取引対価の決定を含め契約に当たっては、契約条件の書面等による明示・交付を行います。

②代金の支払条件

代金の支払いは、現金(振込)により、工事検査完了後、原則として翌月末までに支払います。

③知的財産・ノウハウ

片務的な秘密保持契約の締結、取引上の立場を利用したノウハウの開示や知的財産権の無償譲渡などは求めません。

④働き方改革等に伴うしわ寄せ

取引先が働き方改革に対応できるよう、適正なコスト負担を伴わない短納期発注や急な仕様変更を行いません。災害時等においては、取引先に取引上一方的な負担を押し付けないように、また、事業再開時等には、できる限り取引関係の継続等に配慮します。

3. その他

法令・社会規範の遵守、相互信頼・互恵関係の確立、公正・公平・透明性の確保、安全・品質の確保などについて、パートナーである取引先とともに積極的に取り組んでいきます。

2022年4月21日

ネクサス 代表者 金城 徳寿